



福岡医発第2962号(地)

平成27年 2月 3日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

平成26年度小児等在宅医療連携拠点事業に伴う研修会について

今年度より厚生労働省「小児等在宅医療連携拠点事業」について福岡県が採択され、九州大学病院並びに北九州市立総合療育センターに事業が委託されました。

そこで、本事業の一環として別添のとおり上記の2施設より「福岡県小児等在宅医療連携拠点事業 事業報告と今後の展望」及び「小児等在宅医療支援研究会－実践に学ぶ小児等在宅医療－」が開催される旨、福岡県保健医療介護部を通じて案内がありました。

つきましては、貴会会員に対し周知方いただきますようお願いいたします。

なお、

- 1) 平成26年10月10日付け福岡医発第1885号(地)にて貴会宛て通知いたしました「小児等在宅医療連携拠点事業に係る調査」にご協力いただいた周産期母子医療センター、中核病院小児科、在宅療養支援病院、小児科診療所、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、市町村及び相談支援事業所には、福岡県保健医療介護部医療指導課より直接、案内されておりますことを申し添えます。
- 2) 研修会の詳細及び申込については、別紙案内をご参照ください。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 白石恒明
会長 廣瀬真恵

「公印省略」

26医指第3923号

平成27年1月27日

公益社団法人福岡県医師会
会長 松田 峻一良 殿

福岡県保健医療介護部長
(医療指導課)

平成26年度小児等在宅医療連携拠点事業に伴う研修会について（御案内）

本県の保健医療介護行政につきましては、平素からご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年度より厚生労働省「小児等在宅医療連携拠点事業」について、福岡県が採択され、九州大学病院並びに北九州市立総合療育センターに事業を委託致しました。

そこで、本事業の一環として別添のとおり「福岡県小児等在宅医療連携拠点事業 事業報告と今後の展望」及び「小児等在宅医療支援研究会-実践に学ぶ小児等在宅医療-」の案内が届きましたので、お知らせ致します。

つきましては、関係者へご周知いただき、参加について御配慮いただきますようお願い申し上げます。

なお、アンケート調査に御協力いただいた周産期母子医療センター、中核病院小児科、在宅療養支援病院、小児科診療所、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、市町村及び相談支援事業所には、案内文を送付しておりますので申し添えます。

(問合せ先)

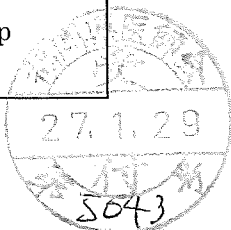
福岡県保健医療介護部医療指導課

在宅医療係 猪毛尾

電話：092-643-3275

FAX：092-643-3277

Mail：ikeo-k8191@pref.fukuoka.lg.jp



『福岡県小児等在宅医療連携拠点事業 事業報告と今後の展望』

近年の周産期医療の進歩に伴い、かつて治療が困難であった疾患を持つ新生児が救命できる様になりました。救命される児が増える一方で、重篤な疾患を持ったまま生活を送らなければならない児も増加しています。これらの児が適切な医療を受けながら、家族と共に人間らしく生きることができる様、地域の医療機関、行政、福祉機関、多職種との連携、小児等在宅医療の拡充について、皆様方と共に考えていきたいと思ひます。

FAX にて
事前申込
参加費無料
先着 100 名

日 時：平成 27 年 2 月 26 日（木） 18 時～20 時

場 所：ホテルセントラータ博多 3 階（花筐の間）

申込方法：事前申込み（裏面に記載のうえ、FAX にてお申し込みください。）

※定員に達し次第、受付を締め切らせて頂きます。

申込締切：2 月 13 日（金）

『福岡県小児等在宅医療連携拠点事業 事業報告と今後の展望』

座長 落合 正行（九州大学病院総合周産期母子医療センター病棟主任）

1. 「小児在宅医療に関するアンケート調査の報告」

野母 ゆかり（九州大学病院福岡県小児等在宅医療連携拠点事業事務局 看護師）

2. 教育講演 1 「小児在宅医療を支える病診連携を考える」

飯田 浩一（大分県立病院新生児科部長）

3. 教育講演 2 「当院における小児在宅医療の取り組みについて」

～在宅人工呼吸器管理を要する児を中心に～

高橋 保彦（JCHO 九州病院小児科部長）

4. 「福岡県より事業の今後の展望について」

刈茅 初支（福岡県保健医療介護部医療指導課課長）

問合せ先：九州大学病院 福岡県小児等在宅医療連携拠点事業部
（Tel 092-642-5982 FAX 092-642-5155）
（mail shonizaitaku@jimu.kyushu-u.ac.jp）

主催：九州大学病院 福岡県小児等在宅医療連携拠点事業部

参加申込用紙

(申込締切2月13日(金))



福岡県小児等在宅医療連携拠点事業 平成27年2月26日(木) 18時~20時

『福岡県小児等在宅医療の現状報告と今後の展望』

申し込みはFAX でお願ひします。

定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

FAX 番号 092-642-5155

所属機関名	
連絡先	
参加者名	職 種

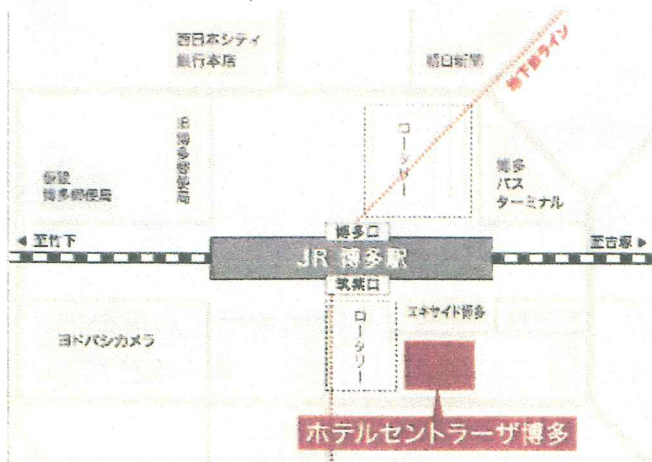
主催：九州大学病院 福岡県小児等在宅医療連携拠点事業部

Tel 092-642-5982

会場：ホテルセントラーザ博多3階(花筐の間)

福岡県博多区博多駅中央街4-23(博多駅筑紫口そば)

Tel 092-461-0111



小児等在宅医療支援研究会

-実践に学ぶ小児等在宅医療-

2015

3/15 (日)

13:00~17:20

開場 12:00/開会 12:50

参加無料 定員 **200** 名 ◀事前申込制▶ ※お申し込みは、裏面 FAX をお願い

北九州市立商工貿易会館 2 階 多目的ホール

北九州市小倉北区古船場町 1-35 (公共交通機関でお越しください) 裏面地図参照

主 催 : 福岡県 九州大学病院 北九州市立総合療育センター

(厚生労働省小児等在宅医療連携拠点事業)

【開催趣旨】

昨年 12 月に開催された「キックオフ会議 2014」を受け、今年度 2 回目の開催となります。「キックオフ会議 2014」では、地域における小児等在宅医療の現状と今後への期待を様々な立場の方からお話いただきました。

今回は、基調講演に熊本市の開業医緒方健一先生をお迎えして、小児等在宅医療の先駆的な実践をお話いただきます。また、在宅支援診療所や訪問看護ステーション、児童発達支援・レスパイト等で小児等在宅医療に取り組み実践家として活躍されている方々と在宅医療サービスを利用している当事者ご家族にご登壇いただき地域での具体的な実践をご報告いただきます。

小児等在宅医療のイメージがわからない方々やこれから小児在宅医療に取り組みようとお考えの関係者にとって具体的な示唆を与えていただける貴重な機会だと考えています。今回の研究会が参加者それぞれの立場から今後の小児在宅医療の具体的な活動に結び付けていけるよう皆様と共に学びたいと考えています。

ぜひ多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

主催者一同

PROGRAM

13:00~13:30 **調査報告**

小児等在宅医療に関わる医療資源調査の結果と分析 (仮題)

落合 正行 (九州大学病院 総合周産期母子医療センター病棟主任)

13:40~15:10 **基調講演**

小児等在宅医療の実践-小児科開業医にできること- (仮題)

緒方 健一 (医療法人おがた会 おがた小児科・内科 理事長)

座長: 高橋 保彦 (JCHO 九州病院小児科部長)

15:25~17:15 **実践報告**

小児等在宅医療の実践-私たちこうやってます! -

座 長: 吉田 雄司 (医療法人 よしだ小児科医院 院長)

コメンテーター: 緒方 健一

報告者: 眞崎 一郎 (眞崎クリニック 院長)

林 ゆかり (あゆみ直方訪問看護ステーション 所長)

松本 圭史 (OZ デイゆくはし 管理者)

当事者家族 (NPO 法人 cocolonn)

お問い合わせ

北九州市立総合療育センター 地域支援室

〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘 10-2 ☎ (093) 922-6886 ㊟ (093) 952-2713

FAX  

北九州市立総合療育センター 地域支援室（研究会担当：相良・三木・志垣・横田）行

参加申込書

貴施設名			
施設所在地	〒 -		
貴施設 TEL	() -	貴施設 Fax	() -
参加者氏名	1	(職種 :)	
	2	(職種 :)	
	3	(職種 :)	
	4	(職種 :)	
	5	(職種 :)	
連絡事項	★参加にあたり車いす等配慮の必要な場合や連絡があれば、ご記入ください。		

●会場のご案内

北九州市立商工貿易会館 2F 多目的ホール

※商工貿易会館には、駐車場がありません。

●JR 小倉駅から徒歩 10 分 ●モルルール日通駅から徒歩 2 分